

# 聴こえ支援機器実地検証 まとめ

---

堺市

# 堺市の問題意識

---

○音が不明瞭に聴こえる「加齢性難聴」に対しては、単に音量を上げるのではなく、高齢者が特に聞き取りにくい周波数帯である高周波音域の音をクリアにすることで、音や言葉の明瞭度を上げることが必要となる。

**(65-74歳では3人に1人、75歳以上では約半数の人が「加齢性難聴」に悩んでいるといわれている)**

○主に高齢者を対象として実施している**介護予防教室等の本市イベントも、「加齢性難聴」による聴力低下によって、講師等の話し手の声が聞こえづらい等**という「聴こえ」への対応が課題となっている。



○**新型コロナウイルス感染防止の観点**からも、できるだけ大きな声を発することを控えることが重要となる状況の下、話し手が大きな声を出さずとも、会話の内容を相手に明瞭に伝えることができる支援機器の現場活用の有効性を検証することが目的。

○「話し手」の声を「加齢性難聴」の方でも聞きとりやすい音質に変換するロボット技術対話型支援機器「comuoon」を**介護予防教室等に導入**し、参加者の「聴こえ」に関するアンケート調査を実施し、その効果を検証した。



# ○実証期間（予定）：令和2年10月1日～令和3年3月31日

堺市介護予防教室参加者予定人数(実人数) 令和2年10月～令和3年3月末

	堺区	中区	美原区	東区	西区	南区	北区	計
出前型げんきあっぷ教室	150	140	224	215	67	240	185	1,221
老人福祉センター型げんきあっぷ教室	20	20	20	20	20	20	20	140
ひらめき脳トレプラス教室	35	10	6	10	10	12	16	99

教室全体	1,460人
------	--------

※令和2年12月4日～令和3年3月31日コロナ感染症拡大の状況を鑑み、高齢者を対象にした集合型教室の中止

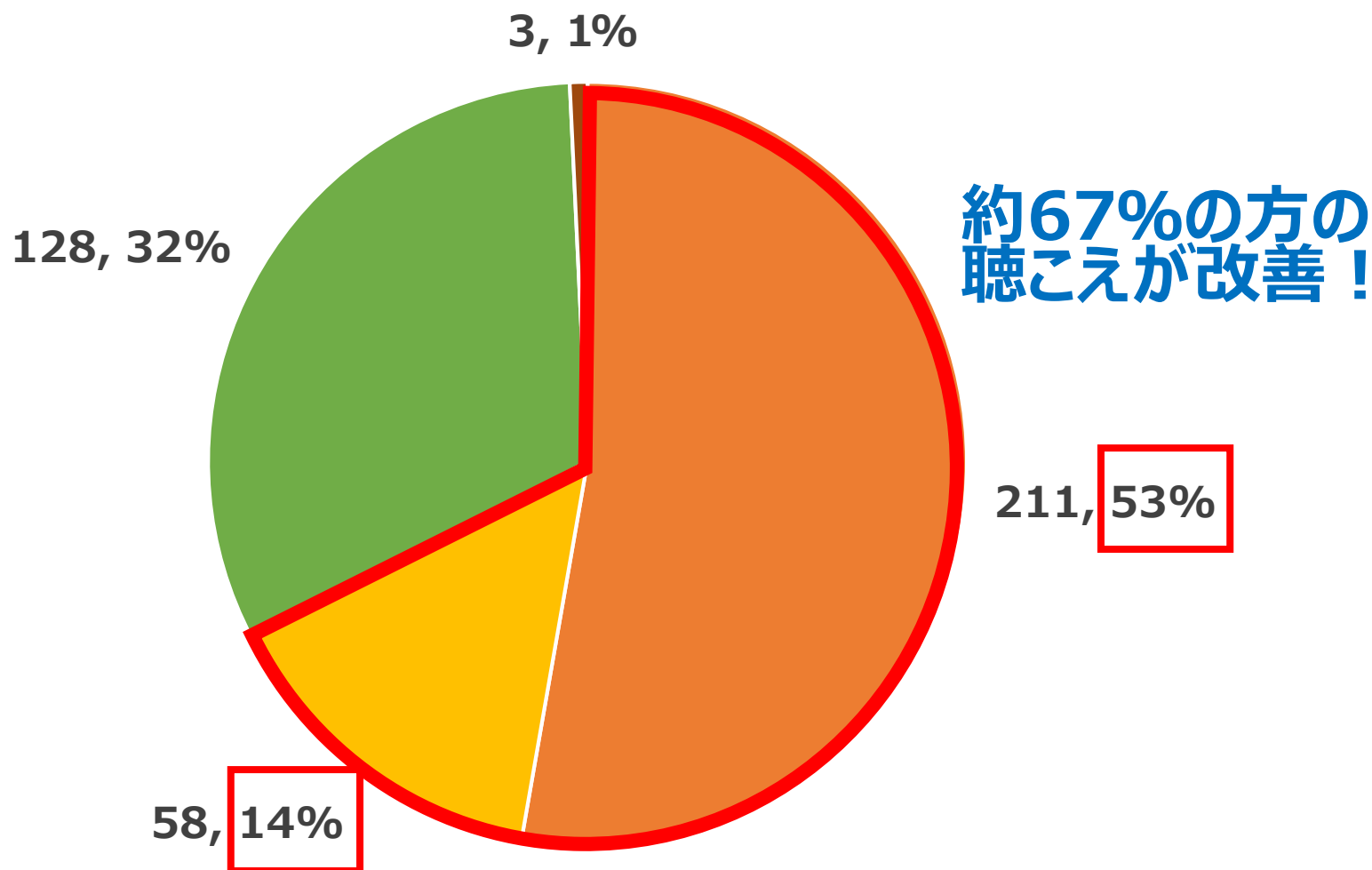
**最終参加者数 | 404人**

**平均年齢 | 76.8歳**

(実施期間：令和2年10月1日～令和2年11月30日)



# 聴こえ支援機器の効果



- よく聞こえる
- 少し聴こえやすい
- いつもと変わらない
- 聴こえにくい

# 体験しての感想

---

- 聴こえやすい
- 普段よりもよく聴こえる
- 高齢の方ほど聴こえやすい様子
- 講師の近くに居る人の方が聴こえやすい
- 会場が狭く、人数が少ないと聴こえやすい
- 電源を入れた瞬間は効果があるように感じたが、  
慣れると効果を感じにくい
- ワイヤレスなので、音が途切れる
- いつもと変わらない
- 指導者側の使用感は全く問題がない

# コロナ対応での訪問看護師による支援



高齢者のコロナ関連の対応に  
おいても、密を避けて問診や  
健康観察の際に活躍